

価値創造産業への決意新たに 業界あげての送客キャンペーンで震災復興を



田川会長「私たちの力の原点の再認識を」



田村長官「海外・国内・訪日で魅力ある商品を」



石井大臣「1日も早い復旧・復興へ全力尽くす」



二階俊博会長「被災地を訪ね観光の重要性を再認識した」



菅官房長官「2020年に向けて旅行業界も協力を」

JATAは6月20日、東京・大手町の経団連会館で第60回定時総会を開催し、

2015年度事業報告と収支決算報告、役員選任が承認されたほか、2016年度事業計画などについて報告が行われました。

田川会長は開会宣言で今年4月に発生した熊本地震に言及し、JATAとして現地の宿泊関連情報など正確な情報提供を行う一方、義捐金活動やボランティア活動に取り組んできたことを報告した上で、「いよいよ『観光による復興』の段階に入った」との認識を示し、旅で応援、いこう九州、というキャッチフレーズのもとで観光業界をあげてのキャンペーンが開始されたことを踏まえ、「私たちの腕の見せ所である『送客』

を通じて観光による復興支援をなしとげたい」と決意を表明しました。

また、会長メッセージの中で、田川会長は旅行会社を対象とするサイバー攻撃による情報漏洩が生じたことについて、「情報社会に生きる旅行業界としてITセキュリティにしっかり取り組むという方針をJATAも持つ必要がある」という考えを示しています。

田川会長は同時に、世界の観光革命や技術革命によって、旅行業界の経営環境が大きく変わってきている今、改めて、旅行会社の価値を考えるべき時だと指摘し、「年初から掲げている『海外旅行の復活』のためにも、私たちの力の原点を再認識することが大切だ」と強調。「環境の変化に対応して、新たな市場やテクノロジーも前向きに捉え、価値創

造産業を目指さなければならない」と訴えました。

田川会長は、旅行会社の力の原点である『企画力』『斡旋力』『添乗力』の三つを活かし、「海外旅行の需要創造、国内の地方創生、訪日旅行の仕組みづくり、安全な旅の実現など価値創造産業を目指すための

田村観光庁長官「大胆な政策を進める好機」

制度構築や運動に邁進していきたい」と結んでいます。

来賓として登壇した観光庁の田村明比古長官は、「2003年のビジット・ジャパン・キャンペーン開始、2006年の観光立国推進基本法、2008年の観光庁設置などを経て、観光行政や観光業界だけでなく、他業界や広く国民にも観光への関

心が広がった今こそ、大胆な政策を進める絶好のチャンス」という認識を示し、訪日外国人旅行者の2000万人がほぼ達成されたタイミングの今年3月に「明日の日本を支える観光ビジョン」が策定されたことの意義を強調。「人数に加え消費額なども含



第60回 JATA 定時総会には125社が出席。委任状提出の804社と合わせ、6月20日現在の正会員1166社中929社の出席により、総会が成立しました

石井国土交通大臣、菅内閣官房長官、二階 ANTA 会長も登壇

めった新たな目標値が設定され、「観光先進国」の実現に向けて各省庁も思い切った施策を打ち出しており、若者による海外旅行を促進する取り組みも盛り込まれた」と説明し、「観光ビジョンの推進と加速に向けて、旅行業界の皆さんにも海外・国内・訪日の各分野で魅力ある商品の企画・開発に尽力していただきたい」と呼びかけました。

九州の観光復興に向けては「割引付き旅行プラン助成制度」を創設し、補正予算から180億円が充てられることに加え、「国内外に向けた集中的なプロモーションと合わせて、九州への旅行需要の回復を力強く支援していく」考えを示し、「旅行会社の協力が不可欠となる」と訴えています。



乾杯の音頭をとった日本観光振興協会の久保成人理事長

定時総会後の懇親会では、石井啓二国土交通大臣が、熊本



レスコヴァル大使「日本から初めてのチャーター便も」

経団連会館で開催された定時総会後の懇親会には、スロヴェニアのシモナ・レスコヴァ

懇親会には500人を超える関係者が参集

地震後における九州の観光復興に向けて総合支援プログラムを政府「丸」となると決定したことに言及し、「日も早い復旧復興に向けて全力を尽くす」方針を明らかにしています。

菅義偉内閣官房長官は、安倍内閣が発足直後から訪日外国人需要の拡大を後押ししてきたことを強調。2020年における訪日外国人旅行者4000万人と訪日外国人旅行消費額8兆円という新たな目標が設定されたことから、「旅行業界にも実現に向け協力をお願いしたい」と呼びかけています。また、全国旅行業協会の二階俊博会長は懇親会で、「自民党の総務会長として熊本と大分を訪れた際、異口同音に観光復興への強い要請を受け、観光の重要性を再認識させられた」と語りました。

第60回 JATA 定時総会では、退任した中村達朗理事長に代わる新理事長として志村格氏が臨時理事会で選任されました。志村氏は観光庁元次長で、今年3月まで新関西国際空港常務取締役を務めていました。

新理事長に志村格氏



ル駐日大使をはじめとする各国の大使14人など大使館関係者60人や、5人の国会議員を含む議員関係者20人、官庁関係者20人、会員150人、航空会社や観光局、関係団体などの関係者280人、合計530人が参集しました。

挨拶に立ったスロヴェニアのレスコヴァル大使は、「まだ誕生して25年という若い国ですが、スロヴェニアと日本の観光関係は大きい発展の余地があり、今年夏には初めてのチャーター便がスロヴェニアに運航されます」と語り、国土の6割が森林で覆われ「緑の宝石」の異名も持つ同国を訪れる日本人旅行者の増加に期待を示しました。



各国からの多彩な参加者が懇親会を盛り上げました

2016年度 JATA 会長表彰が6月20日、東京・大手町の経団連会館で行われました。JATA 会長表彰には、主に JATA 委員会や支部活動において貢献された方を表彰する「功績表彰」と、JATA 正会員会社において35年以上永年従事された方、また JATA 正会員の事業所等で旅行業務に15年以上従事し、添乗の総日数が2500日以上の方を表彰する「永年勤続表彰」があり、それぞれ理事会で決定しています。

今年度は、左記の通り、「功績表彰」で4人、「永年勤続表彰」で10人の方が受賞しました。

〔功績表彰〕

- ※氏名(敬称略) / 所属会社
- 木村英樹 / 京王観光
- 谷口哲也 / 近畿日本ツーリスト北海道
- 中田修樹 / 東武トップツアーズ
- 落合周次 / 日本旅行北海道
- 〔永年勤続表彰〕
- ※氏名(敬称略) / 所属会社
- 吉田博行 / ANA セールス 金城繁男 / 沖縄ツーリスト
- 飯井章弘 / 小田急トラベル
- 美濃川勝好 / 小田急トラベル 青木志郎 / 日本旅行
- 今井明美 / 日本旅行 新木孝信 / ビーエス観光
- 近藤泰弘 / P.T.S 篠原克三 / ワールド航空サービス
- 小倉登美子 / 共立観光



JATA 会長表彰に14人の皆さん